

編集後記

本特集を企画した段階で私が強く思っていたのは、運動器エコーに関する知識や技術を並べるだけでなく、これからの整形外科診療にとって本当に大切なものを見つめ直し、「未来に残すに値する」特集にしたい、ということでした。各先生方からご寄稿いただいた原稿には、単なる手技の解説にとどまらず、患者さんの痛みはどう向き合うか、どのように診断と治療をつなげていくかという、診療の本質が随所に込められており、私自身、編集をしながら大変勉強になる内容ばかりでした。

本特集を通して改めて感じたのは、日本の整形外科医が持つ大きな強みです。患者さんの痛みを耳を傾け、その原因を考え、エコーを用いて診断と治療をつないでいき、その反応を確かめながら次の一手を考えていくこと。そして、その延長線上で手術の必要性まで判断しうることです。このように、患者さんの痛みを包括的に診ていく姿勢は、専門化が進む時代であっても、決して失ってはならない大切な診療のあり方だと感じています。

また、本特集は、初学者の先生方にとって学びの入口となるだけでなく、すでに運動器エコーを実践している先生方にとっても、自身の診療を見つめ直し、さらに発展させるきっかけになる内容になっていると思います。私自身、この特集を通して、運動器エコーを用いた診療は単なる技術ではなく、より良い医療を実現するための大切な姿勢そのものでもあると感じました。本特集は、きっと多くの先生方の日常診療の役に立ち、その先で患者さんの痛みを良くすることに貢献してくれるはずです。

このような貴重な機会をくださった大鳥精司教授、そして企画から編集まで丁寧に支えてくださったメジカルビュー社の長沢慎吾さんに、改めて深く感謝申し上げます。本特集に込められた知識、経験、そして診療への思いが、「未来に残すに値する診療」の内容になっていると確信しています。ご多忙の中、素晴らしいお原稿をご執筆くださった先生方にも心より感謝申し上げますとともに、本特集が今後の運動器エコー診療のさらなる発展につながり、患者さんの痛みがより良くなることを心から願っております。

(岩田秀平)

令和 8 年 4 月 1 日発行

関節外科－基礎と臨床－ Journal of Joint Surgery Vol.45 4月増刊号

発行：年 14 回（年 12 回発行+増刊号 2 回）

編集顧問 高倉義典／進藤裕幸／筒井廣明／吉矢晋一／帖佐悦男

編集主幹 高平尚伸

編集委員 岩堀裕介／内尾祐司／尾崎敏文／岡崎 賢／國吉一樹／大鳥精司／兼氏 歩／谷口 晃

発行人 吉田富生

発行 (株)メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 2-30

TEL 03-5228-2050／FAX 03-5228-2059

ホームページ <https://www.medicalview.co.jp>

email eigyo@medicalview.co.jp（営業部）

jjs@medicalview.co.jp（『関節外科』編集部）

印刷所 三報社印刷（株）／〒136-0071 東京都江東区亀戸 7-2-12

・本誌に掲載された著作物の複製権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、上映権、データベースへの取り込みおよび公衆送信権（送信可能化権を含む）、譲渡権等は（株）メジカルビュー社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, email info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

・本誌をコピー、スキャン、デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は、著作権法上での限られた例外（「私的使用のための複製」など）を除き禁じられています。大学、病院、企業などにおいて、研究活動、診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

広告申込先：（株）文 栄 社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 宮田ビル 5 階 TEL 03-3814-8541